

Syllabus Id	syl-112570
Subject Id	sub-112403801
更新履歴	20110328更新
授業科目名	工業英語 I English for Engineers I
担当教員名	相良 誠
対象クラス	制御情報工学科4年生
単位数	I 学修単位(自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする))
必修/選択	必修
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	S4HR

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

現代の技術者にとって英文の技術文書の読み書きは必須となっている。高専在学中に、英語の技術文書を辞書を使いながら読めるようにならねばならない。4年生では技術英文独特の単語と表現方法を習得する。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

中学英文法の完全理解。

学習・教育目標	Weight	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
	E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成	

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

1. 技術英文読解に必要な数量表現、状態表現、比較表現などの習得。
2. 工業英語4級程度の基礎単語の習得。
3. 授業の進捗に合わせて、種々の分野から技術的な文章を取材し内容理解の演習を行う。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	授業の目的、進め方、自習への助言、評価方法	
第2回		単語テスト、Chapter1 物の名前と数字	
第3回		単語テスト、Chapter1 物の名前と数字	
第4回		単語テスト、Chapter1 物の名前と数字	
第5回		単語テスト、Chapter1 物の名前と数字	
第6回		単語テスト、Chapter1 物の名前と数字	
第7回		Topics	
第8回	前期中間テスト		
第9回		テスト解説、Topics	
第10回		単語テスト、Chapter2 単位と数式	
第11回		単語テスト、Chapter2 単位と数式	
第12回		単語テスト、Chapter2 単位と数式	
第13回		単語テスト、Chapter2 単位と数式	
第14回		単語テスト、Chapter2 単位と数式	
第15回		Topics	
	前期期末試験		
第16回		テスト解説、Topics	
第17回		単語テスト、Chapter3 位置・運動・形	

第18回		単語テスト、Chapter3 位置・運動・形	
第19回		単語テスト、Chapter3 位置・運動・形	
第20回		単語テスト、Chapter3 位置・運動・形	
第21回		単語テスト、Chapter3 位置・運動・形	
第22回		Topics	
第23回	後期中間テスト		
第24回		テスト解説、Topics	
第25回		単語テスト、Chapter4 比較と基準	
第26回		単語テスト、Chapter4 比較と基準	
第27回		単語テスト、Chapter4 比較と基準	
第28回		単語テスト、Chapter4 比較と基準	
第29回		単語テスト、Chapter4 比較と基準	
	後期末試験		
第30回		テスト解説、Topics	

英和辞典または電子辞書を持参すること
工業英単語例文集、または特別課題により毎回20語およびその応用例文を自習すること

評価方法と基準

評価方法:

- ・工業英単語については毎回小テストで評価
- ・授業の理解度については中間テスト、期末テストで評価する

評価基準

- ・中間試験、期末試験 各15%(合計60%)、単語小テスト30%、課題提出10%、授業態度±10%

教科書等	「工業英語4級対策Step by Step」, 別途配布資料
先修科目	3年生までの必修科目
関連サイトのURL	
授業アンケートへの対応	
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。